

南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート  新規  継続  
( 事業 委託 補助用 )

## I 基本事項

整理番号 1327

事業名	西淡公民館活動事業		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	教育部	生涯学習文化振興課		款	教育費・10款
電話	0799 - 37 - 3028			項	社会教育費・5項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	目	公民館費・2目	社会教育法
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務				
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	人づくり 知恵あふれ 郷土愛が満ちるまちづくり			
	まちづくりの目標	情熱と生きる喜びあふれるまち【生きがい】			
	施策目標	仲間との絆を深め、情緒やセンスを磨く、芸術文化活動・スポーツ活動を盛んにする			
該当する事業について「 」を選択		施策的	業務委託	負担金補助	

## II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	対象(誰を・どのような状況の人に)	市民		対象人数(人)	53,374
	目的	<p>意図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入)</p> <p>実生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。</p>			
	実施内容	<p>(何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか)</p> <p>定期的講座を開設する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく英会話</li> <li>・太極拳</li> <li>・南あわじ少年少女合唱団</li> <li>・ちびっこエンジェルジャズダンス</li> </ul>			
	背景	<p>(どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など)</p> <p>余暇時間を有効に活用し、文化活動サークルなどの活動に参加したいという住民の意識は高くなっており、その文化活動に場と機会を提供している。</p>			
	事業実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市直営	<input type="checkbox"/> 民間・その他 ( )		
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度	~	平成 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 設定なし	
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)				
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input checked="" type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input type="checkbox"/> 新市から 旧町で異なった講座開設と講師料の統一を図った。				

## Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

「実施内容」により得られる活動結果指標 (アウトプット)	指標名	講座開設数	指標単位 講座			
	指標説明 (指標算出方法等)	年間5回以上を対象とした開講数を表す指標				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	9	6	4	4	
	実績値	9	6	4		
	達成度 (%)	100.0	100.0	100.0	-	
目標値設定の考え方	年間5回以上を対象とした開講数を目標として設定					
アウトプットにより達成される「目的」に対する事業の成果指標 (アウトカム)	指標名	講座受講者数	指標単位 人			
	指標説明 (指標算出方法等)	年間5回以上を対象とした講座の受講者数				
		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	目標値	150	100	80	80	
	実績値	175	118	108		
	達成度 (%)	116.7	118.0	135.0	-	
目標値設定の考え方	年間5回以上を対象とした講座の受講者数を目標値として設定					
資源配分 (インプット)		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
	直接事業費 (千円)	2,963	1,789	1,307	1,300	
	各種講座謝金等	2,700	1,588	1,098	1,100	
	チラシ、折込料等	35	35	35	35	
	その他	228	166	174	150	
	財源 (千円)					
	国					
	県					
	起債					
	その他	554	383	485	450	
	一般財源	2,409	1,406	822	850	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	
	平均人件費(1日当り)	30.7	29.9	30.1	30.1	
	事業量1(事業に要した日数)					
事業量2(事業に要した人数)						
年間経費([A]+[B])	2,409	1,406	822	850		
「目的」対象人数1人当り経費 (千円)	0.0	0.0	0.0	0.0		
受益者人数(108)1人当り経費(千円)	22.3	13.0	7.6	7.9		
経費に関する補足説明						

## IV Check (事業の自己評価・一次評価)

達成度	活動結果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
		%	100.0	100.0	100.0	-	
	(アウトプットの達成度分析、問題点・課題などを記入。) 人づくり事業では、達成度、効果等についての目標数値を設定するのは難しいめんがある。						自己評価 (5点評価)
						3	
有効性	成果指標目標達成度	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
		%	116.7	118.0	135.0	-	
	成果向上率	%	-	32.6	8.5	-	
(事業実施による目的に対しての有効性分析、問題点・課題などを記入。) 公民館講座に参加して、その後サークル活動によって自主運営活動をしている団体が、現在17サークルとなっている。このようなサークルが今後増えて行くと想定されるので、この公民館講座は有意義な講座であることは言えるであろう。						自己評価 (5点評価)	
						4	
効率性	活動実績1単位当り経費	単位	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
		千円	267.7	234.3	205.5	-	
	効率性増減率	%	-	12.5	12.3	-	
(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。) 南あわじ市には核となる中央公民館が存在しない。その事によって各公民館が各々よく似た講座をしていることがある。できれば中央公民館を設立して、高い教養の講座をすることにより、より意義ある教養や知識を提供できると思います。						自己評価 (5点評価)	
						3	
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低			
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 公民館は地域住民の交流場所として定着している。また、災害時の避難場所としても指定されています。西淡庁舎或いは図書室と併設しているため、住民の必要不可欠な施設になっている。						自己評価 (5点評価)
						4	
総合評価	自己評価をふまえた現状分析						
	サークル活動が17団体存在することは、住民が自ら運営して活動して行きたいという意識の表れでもある。ただ、これまでは施設使用料を無料としていたが、19年度から文化団体に所属している団体は空調設備使用料を頂くことにしており、まだ、その理解が足りない部分がある。今後は、施設の維持管理が大変になると思われるので、自分たちで維持管理のための使用料を負担していくという意識を根付かせなければ施設の存続は困難を極めると感じる。		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>				

## V Action&amp;Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成20年度にできる改善・改革	平成21年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	現在の講座を増やすことはた易くない。また減らすことは望んでいない状況にあるので、当分の間は現状の講座を存続し、若干時間をかけて住民の意見を尊重しながら、改革をしてゆく必要がある。	同左
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果 (現状維持以外の場合)	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	<b>仮に</b> 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 中止、統廃合した場合は、講座の教室が遠くなり参加が難しくなる。特に高齢化が進んでいる西淡地区においては影響を危惧する。	